

コルトナのラウデーは平和を求めてマリアに新しい歌を歌う。Laude novella sia cantata、と。  
聖アンブロジウスは夜明け前に光の朝課を歌い、ヤコポーネはイエスの甘き愛を乞い求め、  
スペインの神秘主義者は雅歌を観想することによってマリアの嘆きを知る。

アントニオはリスボンから船出して、いつしかパドヴァの地を潤し、雨ふりしきるガリシアではヤコブが目覚め、立ち上がり、  
モンセラートの黒い聖母は眠ることなく巡礼者を迎え、キリスト者の魂は絶えることなく、  
詩によって、音によって神と対話し、神に近づこうとした。

Laude novella sia cantata

# ラウデーによる ラウダ

2012年

9月29日(土) 午後3時開演(2時半開場)

日本基督教団 根津教会

(国登録有形文化財指定)

入場料：3,000円(当日3,500円)

演奏：Laudesi Tokyo

特別出演：花井尚美・望月寛之

監修・指揮：杉本 ゆり

<チケット予約・お問い合わせ>

杉本 ゆり：0422-32-6074

yuri-francesca@nifty.com



Laude novella sia cantata  
ラウデージによるラウダ

主よ、ほめたたえられよ、  
あなたの愛の名のもとに人を赦すことのできる者、  
そして病と苦痛を耐え忍ぶ者のために  
幸いに、心安らかにそれを耐え忍ぶ者達は、  
いと高きお方よ あなたより栄冠を授かる  
(アシジの聖フランシスコ「被造物の賛歌」より)



【器 楽】 坪田一子 (フィーデル)、佐藤亜紀子 (リュート)  
須藤みぎわ・深見奈央 (リコーダー)  
名倉亜矢子 (ゴシック・ハーブ)  
須藤希実子・高橋英樹 (打楽器)

【歌】 市川克美、市川摩里子、遠田さゆり、鏑木綾、上出朝子  
久保田和彦、熊谷淳子、佐藤喜義、名倉亜矢子  
松田喜久子、村松勝久、山中真佐子、渡辺和之

【特別出演】 花井尚美・望月寛之

【監修・指揮】 杉本ゆり

◆演奏曲目◆ アンプロジウス聖歌、コルトナ・ラウダ、フィレンツェ・ラウダ、  
パレストリーナのラウダ、セクエンティア、モンセラート写本、ピクトリア他

中世からルネサンスまでの歌を次の5つの局面から構成しています。

「讃える」「悔悛」「マリアの嘆き」「聖人崇敬」「死を想え」

日本基督教団 根津教会  
(国登録有形文化財指定)

文京区根津 1-19-6 / 電話: 03-3821-6342  
地下鉄千代田線 根津駅 1 番出口より徒歩 8 分  
※お車、自転車でのご来場はご遠慮ください。

